

①私立高校入試について

- ◆ 私立高校を受験する場合、単願と併願があります。

単願・・・合格したら必ず入学することを前提として受験する方法です。 併願・・・入学を前提とせず、複数の高校を受験する方法です。
--

- ※ 併願での受験は、合格した場合公立高校や他の私立高校の結果が出るまで入学の権利が保障されます。そのため、単願より合格の難易度は高くなっています。
- ※ 単願で受験すると併願より合格しやすくなります。もし、も不合格の場合は、他の高校の単願受験ができます。

【学業特待】

- 主に併願者のための試験。
- 入学試験(学力検査)の結果により、「特待生」として「入学金免除」「授業料免除」等の特典が与えられる。
- 合格の種別、内容については高校により異なる。

【運動特待】

- 主に単願者のための試験。(併願者も可の場合もある。)
- 中学校での実績や実技試験の結果等により選考。3年間部活動が続けることを前提とする。
- 実際には、学校を通して事前に高校から声がかからなければなかなか受かりません。
- 選考結果より、「特待生」として「入学金免除」「授業料免除」等の特典が与えられる。
- 合格の種別、内容については高校により異なる。

【推 薦】

- 主に単願者のための試験。(まれに、併願者も可の場合もある。) 学校長の推薦が条件。特進推薦、一般推薦、スポーツ推薦等、高校により様々。
- 調査書、学力検査、面接等の結果により選考される。
- 成績によっては、「特待生」の特典が与えられる場合もある。
- 内容については高校により異なる。

【一 般】

- 単願と併願、どちらでも受けられる高校が多い。併願のみの高校もあるので要注意。
- 時期的に、私立高校入試としては最後のチャンスとなる入試。
- 調査書、学力検査、面接等の結果により選考される。
- 内容については高校により異なる。ステップアップ(合格条件をよくする)入試もある。

- ◆ 次の高校、[樹徳、桐一、白鷗、佐日、足大附属、足短附、共愛、常盤、清澄、国栃] については、願書の配付・中学受付・出願・合否の受理は中学校で行います。

他の高校については、各家庭で出願書類の取寄せ・出願手続等を行ってください。

- ◆ 願書や出願書類は高校によってすべて違います。また、受験料は事前に指定の銀行や郵便局に払い込み、払込票を願書に貼付する場合があります。
- ◆ 一度の受験料で複数の受験ができる高校もあります。(2回目以降は無料など)
- ◆ 併願受験者に「単願切替え合格」(単願に切り替えれば合格)を出す高校もあります。
- ◆ 自宅のパソコンから各自で出願するWeb出願の高校もあります。【佐日・国栃・白鷗】

②公立高校入試について

- ◆ 併願は私立高校だけです。群馬高専も含め公立高校は前後期を問わず単願です。
- ◆ 前期が不合格だった場合、同校同学科、他校を含め、改めて後期選抜が受検できます。
- ◆ 前期選抜は非常に倍率が高く厳しいです。また、前期の結果から後期出願までの日程が短いため、後期の出願予定はあらかじめ決めておく必要があります。

【前期選抜】

〔応募資格等について〕

- 1校1学科(コース)に限り出願できる。「くくり募集」の高校もある。桐女、桐商など
- 募集人員は、募集定員の10%～50%を標準とする。高校別の定員は別紙参照。
- 一般の募集(学習成績等)はA選抜、特定の要件(部活動実績等)による募集はB選抜。

〔出願について〕

- 「入学願書」(願書および受検票の所定の欄に写真を貼付)
 - 「志願理由書」
 - 「出願に係る調査用紙」(高等学校長が必要とした場合のみ)
 - 「受検料」 県立は、前後期とも2,200円の「群馬県証紙」
市立(桐商等)は前後期とも現金2,200円と領収書宛名の事前記入など、高校の指示。
- ※「調査書」(中学校長)

〔選抜について〕

- 昨年度から、国語・数学・英語の基礎学力検査を行っている。
- 学力検査に代えて「総合問題」を実施する高校もある。(前高、前女、高高、高女、太田)
- その他、面接・英語面接・実技検査・作文・小論文・パーソナルプレゼンテーション等の中から、高等学校長が定めた検査を実施する。
- 上記検査および「調査書」等を高校が定めた比重で総合的に判断して選抜を行う。
- 詳細は別紙「募集・選抜方法等一覧」参照。

【後期選抜】

〔応募資格等について〕

- 1校に限り出願できる。複数の学科を設置する高校で、第2志望が志願できる高校や「くくり募集(学科は選ばせず一括の募集)」を行う高校もある。(桐商など)

〔出願について〕

- 「志願理由書」は不要。「願書」「調査用紙(特定の高校)」「受検料」「調査書(中学校長)」
- 「受検料」は前期と同じ。

〔選抜について〕

- 国語・数学・社会・理科・英語の学力検査を行う。高校によっては面接も実施。
- 各教科100点満点が基本。傾斜配点(英数を200点など)とする高校もある。
- 上記検査および「調査書」等を資料として、各校の比重で総合的に判断して選抜を行う。
- 詳細は別紙「募集・選抜方法等一覧」参照。

〔志願先変更〕

- 後期選抜は出願後に志願先高校または学科の変更ができる。〔手続きは保護者対応〕

〔再募集〕

- 学校全体で5人以上の定員割れがある高校で実施。後期の受検校には出願できない。

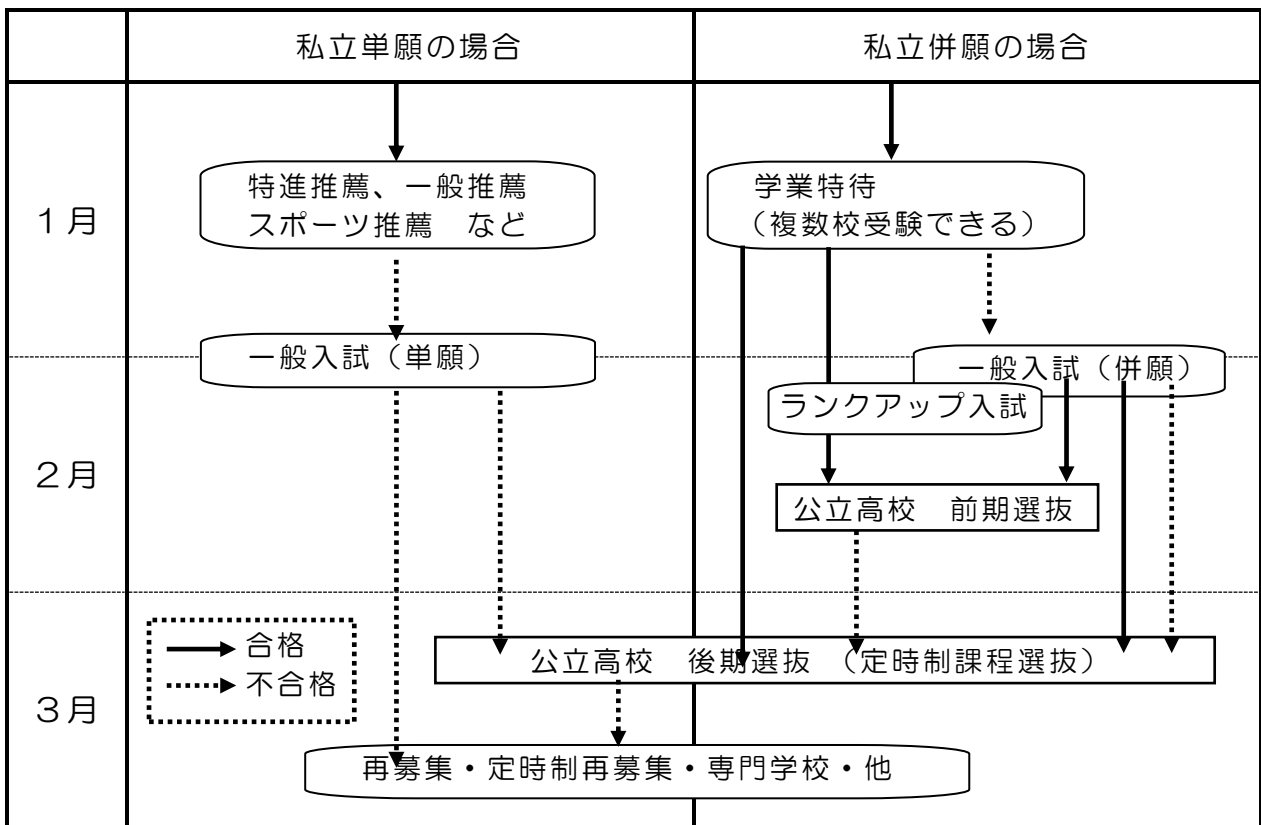
※栃木県の公立高校を受検する場合の注意

日程は群馬県と異なるが群馬県との併願はできない。受検料は栃木県証紙を購入。

③受験方法について

- ◆ 1月上旬～2月上旬に私立高校の入試(学特・推薦・一般等)、2月中旬に公立高校前期選抜、3月上旬に公立高校後期選抜があります。
- ◆ 私立高校は単願にするか併願にするかよく考えて、受験計画を立ててください。単に受験校を決めるのではなく、「もしも合格できなかったら」という考え方をして、先の先まで受験する高校を考えておいてください。もちろん、途中で計画が変更される場合もあります。その時は出願準備に間に合うように、早めに中学校にお知らせください。
- ◆ 第一志望が公立高校で私立高校を併願で受験する場合は、入学する可能性がある高校として通学方法や高校生活など、よく考えた上で決めていってください。

【一般的な受験の仕方】



【単願の場合の例】

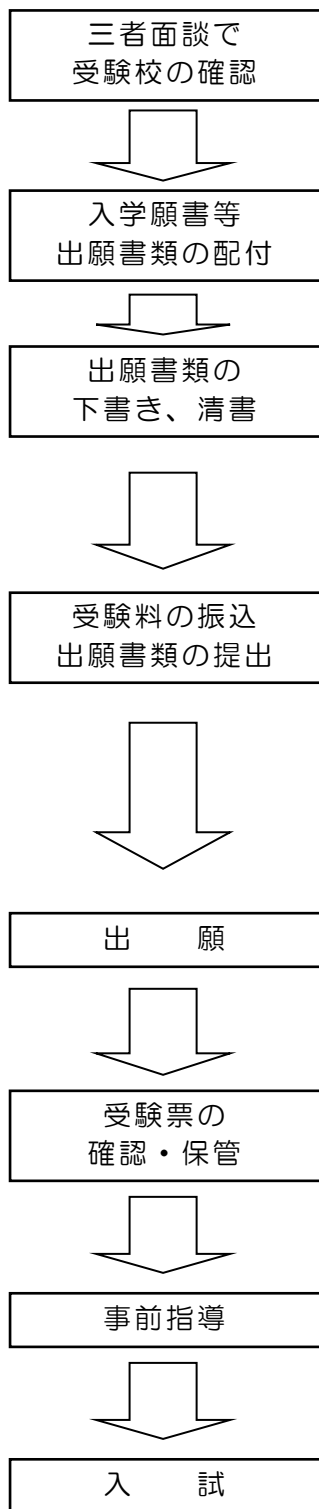
推薦入試 [不合格の場合 → 一般入試(単願) → 公立後期選抜 → 定時制・他]

【併願の場合の例】

学業特待入試(複数校可) [不合格の場合 → 一般入試(併願)]
 ↓ ※学特合格の場合、ランクアップ入試なども。
 公立高校(前期・後期) [不合格の場合 → 定時制・他]

※ 公立高校が第一志望の場合、学業特待で2校くらい併願受験する生徒が多いようです。学業特待の結果が公立高校の合否の目安として参考になります。

入試までの流れ



- ◆ 三者面談およびその後の相談で受験校を決定し、早めに担任に申し出る。
※ 「受検計画書」の提出締切は 11月19日(月)
※ その後の計画変更等は「受験校追加・変更届」
- ◆ 出願期日に合わせて「入学願書」等の必要書類を受け取り、書き方等の説明を受ける。
- ◆ 「入学願書」等の出願に必要な書類の下書きをして、担任に提出する。その後、3年職員が確認をしてから、「入学願書」等を返却する。次に、黒のボールペンまたは万年筆を使用し、清書をする。清書が十分乾いたら、下書きを消し押印する。
- ◆ 清書した「入学願書」等の出願に必要な書類と、「受験料払込受領証」(私立)、または「群馬県証紙」(県立)か「受験料(現金)」(市立)を、校内提出締切日までに、担任に提出する。
⑨ 「支払受領証」や「県証紙」、「顔写真」等は貼らずに提出すること。
- ◆ 「入学願書」等の出願に必要な書類と中学校からの書類を職員が一括して受験校に提出し、受験校から「受験票」を受け取る。
- ◆ 担任から、各自「受験票」を受け取り、「受験番号」等を確認する。その後は、各自で大切に保管する。「受験票」は、受験後も使用する場合がありますので、紛失したり処分したりしてしまわないよう大切に保管する。
- ◆ 入試の前日、休日が入る場合はその前に、事前指導を行う。事前指導は、入試当日の諸注意や諸連絡、資料配付等を行う。冬休み中の事前指導は、12月中に行う予定。
- ◆ 入試当日は余裕をもって行動し、集合時間に遅れないようにする。なお、入試の引率は原則として学校の職員が行う。ただし、受験者が少ない場合には、保護者をお願いすることもある。

◎「受験票」は、入学手続きや再受験時にも必要となります。入学試験が終了した後も大切に保管してください。その他、詳しいことは担任と連絡を取って相談してください。

④願書等の書き方

- ◆ はっきりした字（楷書）で書いてください。（続け字は不可）
- ◆ 筆記用具は、黒のボールペンまたは万年筆を使用してください。
- ◆ 住所は正しく、数字はすべて算用数字で書いてください。0, 1, 2, 3・・・
番地や号数がはっきりしないときは、調べてください。参考に、学校への届け出住所を生徒に知らせます。違っている場合はすぐ言ってください。
※(例) 桐生市境野町6丁目1673-1 ⇒ 桐生市境野町6丁目1673番地の1
- ◆ 姓名も正しい字で書いて、印鑑も字とあったものを使ってください。
- ◆ 「ふりがな」なのか、「フリガナ」なのか確かめてください。
※ ふりがな ⇒ ひらがなでふりがなを書きます。
※ フリガナ ⇒ カタカナでふりがなを書きます。
- ◆ 志望の科(コース)を書く場合、第1志望だけ書くのか、第2志望まで書くのかを確かめてください。
※(例) 公立前期は第1志望しか書けません。
- ◆ 出身中学校は、桐生市立境野中学校です。平成31年3月31日卒業見込みです。
- ◆ 続柄・・・志願者との続柄なら、父や母などと書く。
- ◆ 印のところに押印を忘れずに。ただし、シャチハタは不可です。(必ず朱肉を使う。)
- ◆ 記入を間違えた場合は、2本線を引いて訂正印を押し、直してください。
修正テープや修正ペンの使用は不可です。
※押印・・・願書、志願理由書、訂正印は、すべて同じ印を押してください。
- ◆ 受検料を提出する場合は、落ちないように必ず袋に入れて名前も書いてください。
 - ・ 県立高校では、群馬県証紙2,200円分を貼らずに提出してください。
 - ・ 公立でも市立高校の場合は、募集案内をよく確認してください。桐生市立商業高校は前後期とも現金2,200円となります。領収書の宛名書きもします。
 - ・ 私立高校も学校ごとに様々なので、募集案内をよく確認してください。多くの場合は銀行等の窓口で所定の振込用紙で支払い、返された「受験料払込受領証」等を提出します。
願書には、まだ貼らずに提出してください。(願書を書き直す場合があります。)
- ◆ 公立高校の願書、受検票には写真を貼付します(2枚必要)。
 - ・ 縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽、平成30年10月1日以降に撮影したもの。カラー、白黒いずれも可です。※ 証明写真は学校で撮影しました。(10月29日)
※ 4枚綴りなので、公立前期2枚、後期2枚使えます。私立高校で写真貼付が必要な高校もありますので、受験予定をよく確認し、必要な場合は間に合う時期に申し出てください。有料で焼増しすることができます。

願書等の書類は、必ず期限を守って提出してください。